

Title	『キリスト者の祈祷と黙想』(John Day, 1569)における欄外装飾の研究
Sub Title	A study on biblical borders of Christian prayers and meditations (John Day, 1569)
Author	井出, 新(Ide, Arata)
Publisher	慶應義塾大学
Publication year	2022
Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書(2021.)
JaLC DOI	
Abstract	<p>ロンドンの書籍商ジョン・デイによって刊行された『キリスト者の祈祷と黙想』(Christian Prayers and Meditations, 1569)は非常に特異な祈祷書である。もともとは、エリザベス一世の個人的な祈祷書として出版され、冒頭に祈りを捧げるエリザベスの姿をかたどった木版肖像画が挿入されているため、「エリザベス女王の祈祷書」としても知られている。その後、ジョン・デイの息子リチャードがそれを改訂し、さらに多くの挿絵を付け加えて『キリスト者の祈祷書』(A Booke of Christian Prayers)として1578年、1581年、1590年にそれぞれ刊行、最終版は1608年に書籍商組合によって出版された。プロテスタント教理に則った祈祷書であるにもかかわらず、カトリックの伝統的な時祷書を模して、全ページに木版画の欄外装飾が施されている。イングランド国教会が視覚的イメージをカトリック的残滓として忌避し、聖像や聖画などを教会から排斥したことを考えると、『キリスト者の祈祷書』の装飾的パラテキストは、そうした方針とは正反対の方向性へと読者を誘いかねないものだ。そういう意味で、この祈祷書はなんとも特異である。逆に言えば、この祈祷書の特異性がどのように生まれたのかを考えれば、宗教改革後のイングランドにおける『キリスト者の祈祷書』出版の意味や、視覚的イメージが当時の人びとに対して持っていた影響力を明らかにすることになる。今年度の研究では、この書物の欄外装飾=パラテキストを通して、当時の宗教と視覚文化の関係を考察し、英文の論文にまとめ、現在審査中である。</p> <p>Christian Prayers and Meditations, a prayer book published by John Day in 1569, is an informative piece of historical evidence that can enhance our understanding of Protestant adaptations of Catholic images during the English Renaissance. I have specifically explored the workings of (self-)censorship on its biblical border illustrations, first by identifying the sources of the illustrations and then by reconstructing the production process that Day and his engravers followed.</p>
Notes	
Genre	Research Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2021000003-20210197

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

研究代表者	所属	文学部	職名	教授	補助額	200 (B) 千円
	氏名	井出 新	氏名 (英語)	Arata Ide		
研究課題 (日本語)						
『キリスト者の祈禱と黙想』(John Day, 1569)における欄外装飾の研究						
研究課題 (英訳)						
A Study on Biblical Borders of Christian Prayers and Meditations (John Day, 1569)						
1. 研究成果実績の概要						
<p>ロンドンの書籍商ジョン・デイによって刊行された『キリスト者の祈禱と黙想』(Christian Prayers and Meditations, 1569)は非常に特異な祈禱書である。もともとは、エリザベス一世の個人的な祈禱書として出版され、冒頭に祈りを捧げるエリザベスの姿をかたどった木版肖像画が挿入されているため、「エリザベス女王の祈禱書」としても知られている。その後、ジョン・デイの息子リチャードがそれを改訂し、さらに多くの挿絵を付け加えて『キリスト者の祈禱書』(A Booke of Christian Prayers)として1578年、1581年、1590年にそれぞれ刊行、最終版は1608年に書籍商組合によって出版された。プロテスタント教理に則った祈禱書であるにもかかわらず、カトリックの伝統的な時禱書を模して、全ページに木版画の欄外装飾が施されている。イングランド国教会が視覚的イメージをカトリック的残滓として忌避し、聖像や聖画などを教会から排斥したことを考えると、『キリスト者の祈禱書』の装飾的パラテキストは、そうした方針とは正反対の方向性へと読者を誘いかねないものだ。そういう意味で、この祈禱書はなんとも特異である。逆に言えば、この祈禱書の特異性がどのように生まれたのかを考えれば、宗教改革後のイングランドにおける『キリスト者の祈禱書』出版の意味や、視覚的イメージが当時の人びとに対して持っていた影響力を明らかにすることになる。今年度の研究では、この書物の欄外装飾＝パラテキストを通して、当時の宗教と視覚文化の関係を考察し、英文の論文にまとめ、現在審査中である。</p>						
2. 研究成果実績の概要 (英訳)						
<p>Christian Prayers and Meditations, a prayer book published by John Day in 1569, is an informative piece of historical evidence that can enhance our understanding of Protestant adaptations of Catholic images during the English Renaissance. I have specifically explored the workings of (self-)censorship on its biblical border illustrations, first by identifying the sources of the illustrations and then by reconstructing the production process that Day and his engravers followed.</p>						
3. 本研究課題に関する発表						
発表者氏名 (著者・講演者)	発表課題名 (著書名・演題)	発表学術誌名 (著書発行所・講演学会)	学術誌発行年月 (著書発行年月・講演年月)			